

# 高倉寺観音堂(入間市)

こうそうじ

ここが入間市にある高倉寺



説明板がある



## 高倉寺こうそうじ

曹洞宗の寺院で光昌山高倉寺と称し、建立されたのは天正年間（一、五七〇年代）のはじめと推定される。

開山は、飯能市の能仁寺のうにんじ第三世材室天良禅師である。

ここには国指定重要文化財（昭和二十四年指定）の観音堂がある。

この御堂は、もと飯能市白子の長念寺に建てられてあったものを、延享元年（一、七四四年）高倉寺の第五世白翁亮清がもらいつけ、修理を加え移築したもので、創建は、室町時代初期と推定される。

この建築には、方三間ほうさんけん、一重ひとえ、入母屋造いりもやづくり、屋根は茅葺形銅板葺かとうまじ、粽ちまきを有する円柱、両肩の張る花頭窓かとうまど、棧唐戸せんからど、組物くみものなど随所に禅宗様式がとり入れられており、本県を代表する優れた古建築の一つである。

また、観音堂内には、中村芝翫なかもろしがん（のちの四代目中村歌右衛門）の「九変化」の扁額へんがくが保存されている。これは、鳥居派五代目清満の作と伝えられており、江戸の小高亀吉が江戸時代に奉納したもので、演劇史上、貴重な資料となっている。

入間市景観50選の一つらしい



これは楼門



# 高倉寺双龍の意

この楼門中央頭上の双龍は衆生を見守り  
阿形龍(右)口を開くは身を旅清めを授け  
叶形龍(左)口を結ぶは心を淨め慈愛を育む  
古來龍は龍神龍王と尊称され  
水の恵招福開運に偉大な力を秘め  
深淵を天空に至る神通力は廣大無量です  
階上の禪宗様花頭窓と棧唐戸に飾られた  
内室には仏法、禪門守護の釈迦如來及び  
十六羅漢の尊像が安置されて居り  
合掌礼拝して入山する善男善女の  
願、事と叶之利益を授け給う

龍山照天  
福壽無量

誠意勅製  
瑞禪入魂  
当山二十世禪巖一雄代

維時 昭和六十三(戊辰)年 元日 吉祥日

「階上の禪宗様花頭窓と棧唐戸」が見える



これが「双龍」のようだ





楼門を側面から見たところ



楼門を境内から見たところ



正面が本堂



近づいて見たところ



その左手が観音堂



これが高倉寺観音堂正面/室町時代初期の建立/重要文化財/左手に説明板が立っている



# 高倉寺観音堂 付棟札一枚

国指定重要文化財(建造物)

指定年月日 昭和二十四年五月二十日

高倉寺は、曹洞宗に属し、山号を光昌山さんという。観音堂は、室町時代初期に建立されたと推定される。棟札むなによれば、もとは飯能市白子の長念寺観音堂であったが延享元年(一七四四)高倉寺の第五世白翁亮清が譲り受けて移築したものである。その後昭和二十六年に修復が行なわれた。観音堂の平面形態は方三間で、周囲に縁を持つ。正面の三間と側面の手前一間を棧唐戸さんとし、内法貫上うちのりぬきには弓形の欄間を設け、側面の中央一間に花頭窓を配している。柱は粽柱ちまきばしらで、軒は一軒扇垂木むすぶたるきとしている。屋根は長刀反ながなたぞりをもつ入母屋造で建立当時は茅葺かやであったが、現在は茅葺様銅板葺に改められている。関東地方における禅宗様式の代表的な建造物の一つである。

また、堂内の本尊背後におかれている鉄製灯籠てつせうろうは室町期に流行した形式を伝えている。

平成四年十二月一日



文 化 庁

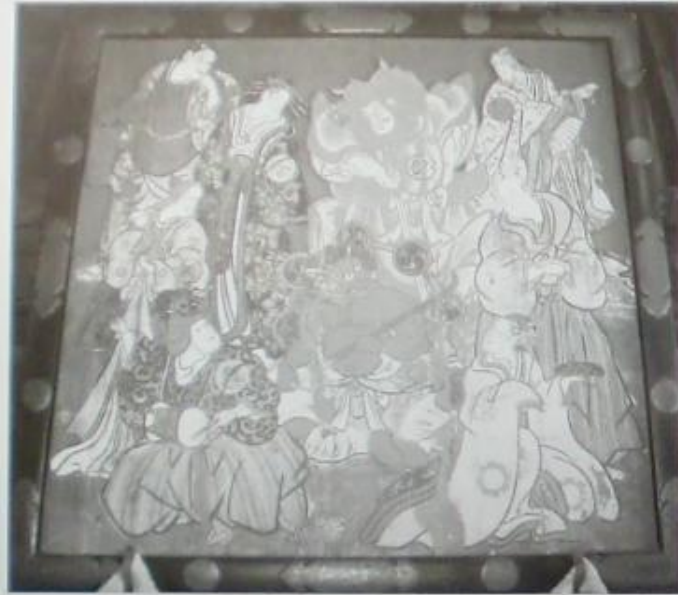
埼玉県教育委員会  
入間市教育委員会

# 歌舞伎「九変化扁額」

市指定有形文化財（絵画）

指定年月日 平成二十四年三月三十日

天保四年（一八三三）に中村芝翫（のちの四代目中村歌右衛門）が江戸中村座で九変化を上演した時の歌舞伎の芝居絵看板を、上演終了後に扁額に仕立て直したもので、大きさは縦一三七センチメートル、横一三九・五センチメートルである。額には、上段に丁稚・傾城・朱鍾馗・雨乞小町、中段に老女・雷・座頭、下段に越後獅子・文使の娘と、九変化の人物がそろって描かれている。



当時の江戸歌舞伎の絵看板や番付絵は、鳥居派が中心に描いており、この絵は鳥居派五代目の清満の手になるものである。扁額に直されているものの、天保年間にさかのぼる芝居絵看板が残っていることは珍しく、歌舞伎の歴史を知る上でも重要な資料といえる。

平成二十六年二月



入間市教育委員会  
入間市文化財保護審議委員会



正面をアップで見たところ



棧唐戸、弓欄間そして藁座も見てとれる



詰組の斗拱



右側面/屋根は元々茅葺であったが、現在は茅葺様銅板葺となっている



花頭窓が付いている



左手のアップ



中央のアップ



右手のアップ/





上部を見たところ/粽柱の様子が見てとれる



台輪が廻っている



周囲に縁をもつ



右斜め後から見たところ/長刀反りの軒反り



背面





左斜め後から見たところ



軒下をアップで見たところ





扇垂木



左斜め前から見たところ











高倉寺観音堂(1350年代か 入間市高倉 高倉寺  
国指定 ※もと飯能市白子の長金寺観音堂)



正福寺地藏堂 (1407年※墨書きによる 東京都東村山  
市 正福寺 国宝)



円覚寺舎利殿 (1425年頃※年輪年代法による 神奈川  
県鎌倉市 円覚寺 寛政万佐行氏写真提供 国宝 ※もと  
鎌倉尼五山第一位の大平寺仏殿)

板碑で読み解く武士と寺院/入間市博物館 より

その他の建物もあった/鐘楼と水屋



七福堂





六地藏



参考ホームページ

<http://ckk12850.exblog.jp/17003859/>

<http://ogino.sitemix.jp/kantou/saitama/iruma shi/kousouzi/index.html>

<http://masa4534.blog.fc2.com/blog-entry-82.html?sp>

<http://blog.goo.ne.jp/hanako1033/e/e848ea5a0290d267ca22485b436e2988>

<http://blogs.yahoo.co.jp/qazxswedcvfr2004jp/55017401.html>

<http://www.asahi-net.or.jp/~cn3h-kkc/tera/tera416.htm>

<http://ameblo.jp/keefrhard0308/entry-11598435006.html>

<http://www.mapbinder.com/Map/Japan/Saitama/IrumaShi/50/Kosoji/Kosoji.html>

<http://japan-geographic.tv/saitama/iruma.html>

